

(第1報)

日本自立支援介護・パワリハ学会、2017年(東京)

演題名：会話力賦活システム(CASA)により、毎回、会話が成立する人が38名中、18名から29名に増加した。

発表者：浅田 章

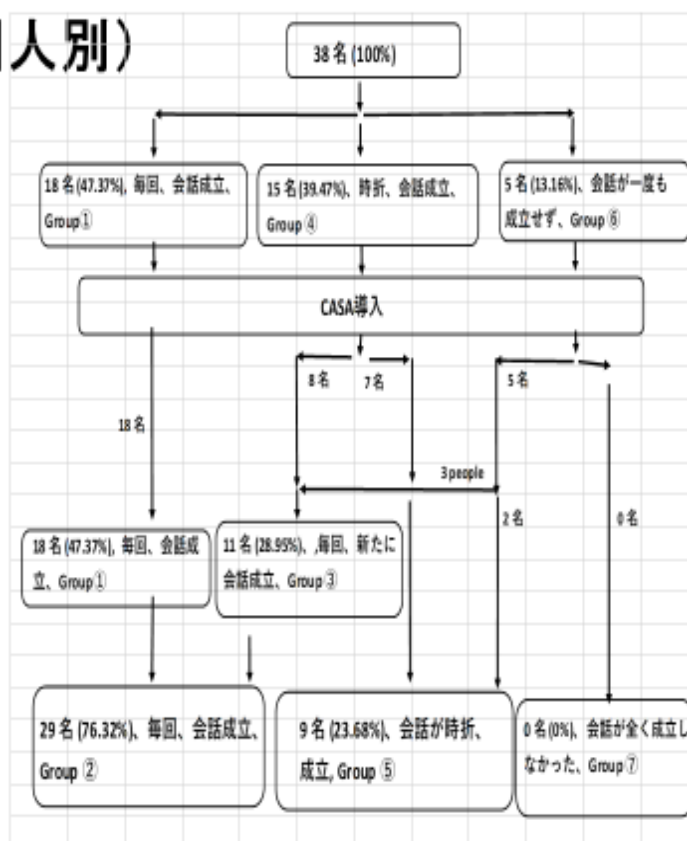
所属施設：すこやか生野

会話の成立頻度(個人別)

CASA導入前には、47.37%(18人)で毎回、会話が成立した。Group①

CASA導入後、28.95%(11名)で新たに、毎回、会話が成立した。これは20名(Group④+⑥)の55%に相当する。

CASA導入後、76.32%の人で毎回、会話が成立した。Group②



CASA導入後、一度も会話が成立しない人はいなくなった。

概略：書面で同意を得た38名に、のべ386回、実施。会話が成立する機会は、CASA導入前に266回(68.91%)、導入後、350回(90.07%)に向上した。対象者38名の内、毎回、会話が成立する人は、CASA導入前に18名(47.37%)、CASA導入後、29名(76.32%)。全く一度も会話が成立しない人はゼロ。